

道南太平洋海域スケトウダラニュース

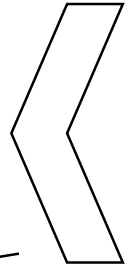
平成17年度 第5号

2006年1月24日

北海道立函館水産試験場室蘭支場

Tel: 0143-22-2327

Fax: 0143-22-7605



道南太平洋スケトウダラ計量魚探調査結果

稚内水試調査船北洋丸により行われたスケトウダラ計量魚探調査の結果をお知らせします。

- ・調査期間：平成18年1月14日～1月22日
- ・調査海域：渡島～日高支庁の水深50～500m太平洋海域

- ・魚探反応の強い海域は、胆振から日高支庁の水深50～400m海域
- ・分布水深は70～300m、胆振日高海域では一部沿岸の水深50mにも分布
- ・湾内は、森、砂原沖にパッチ状の反応が分布

1. スケトウダラと考えられる反応は、水深70～400mと広い範囲に分布しており、胆振日高の一部海域では沿岸の水深50mまで反応が続いていました。
2. 魚探反応の強い海区は、鶴川から静内沖の海区168、170、172、苫小牧沿岸の180、地球岬東方沖から白老沖の186、182、183海区、渡島海域の193海区でした。
3. 噴火湾内では森、砂原沖にパッチ状の強い反応がありました。
4. 海域全体の反応量は昨年同時期と比較して低い値（約2/3）でした。
5. 今年度のスケトウダラニュースは本号で終了です。

ホームページアドレス

<http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/exp/hakodate/>

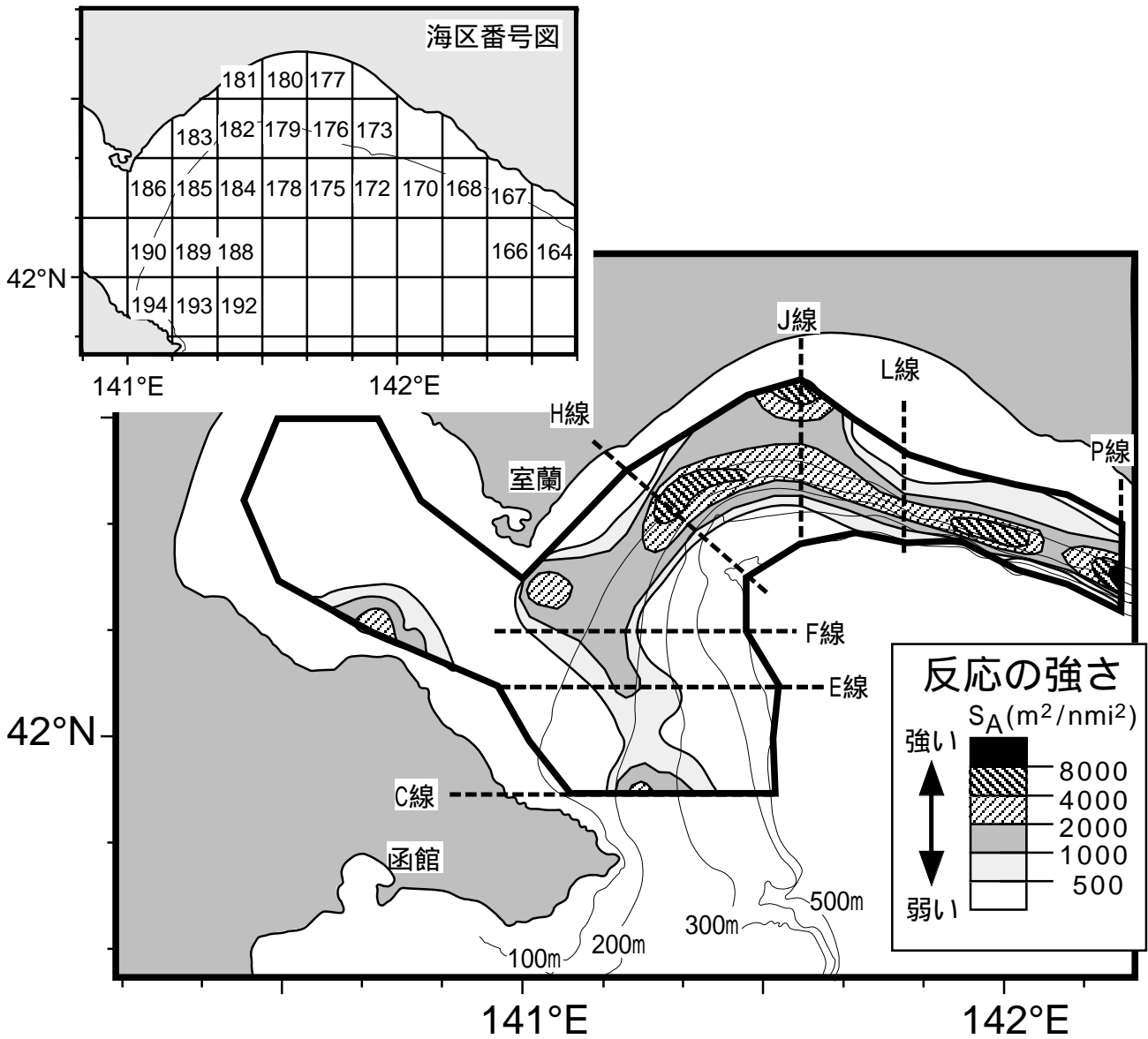


図1 . 調査海域における魚群の分布
太い黒線の中が調査範囲

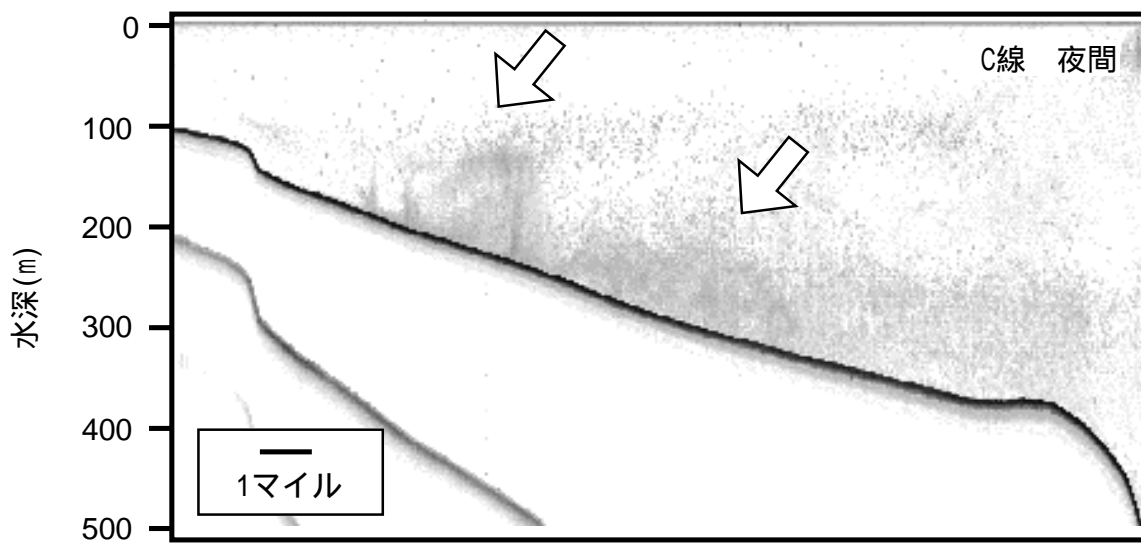


図2 . 魚探画像
矢印：スケトウダラと考えられる魚群

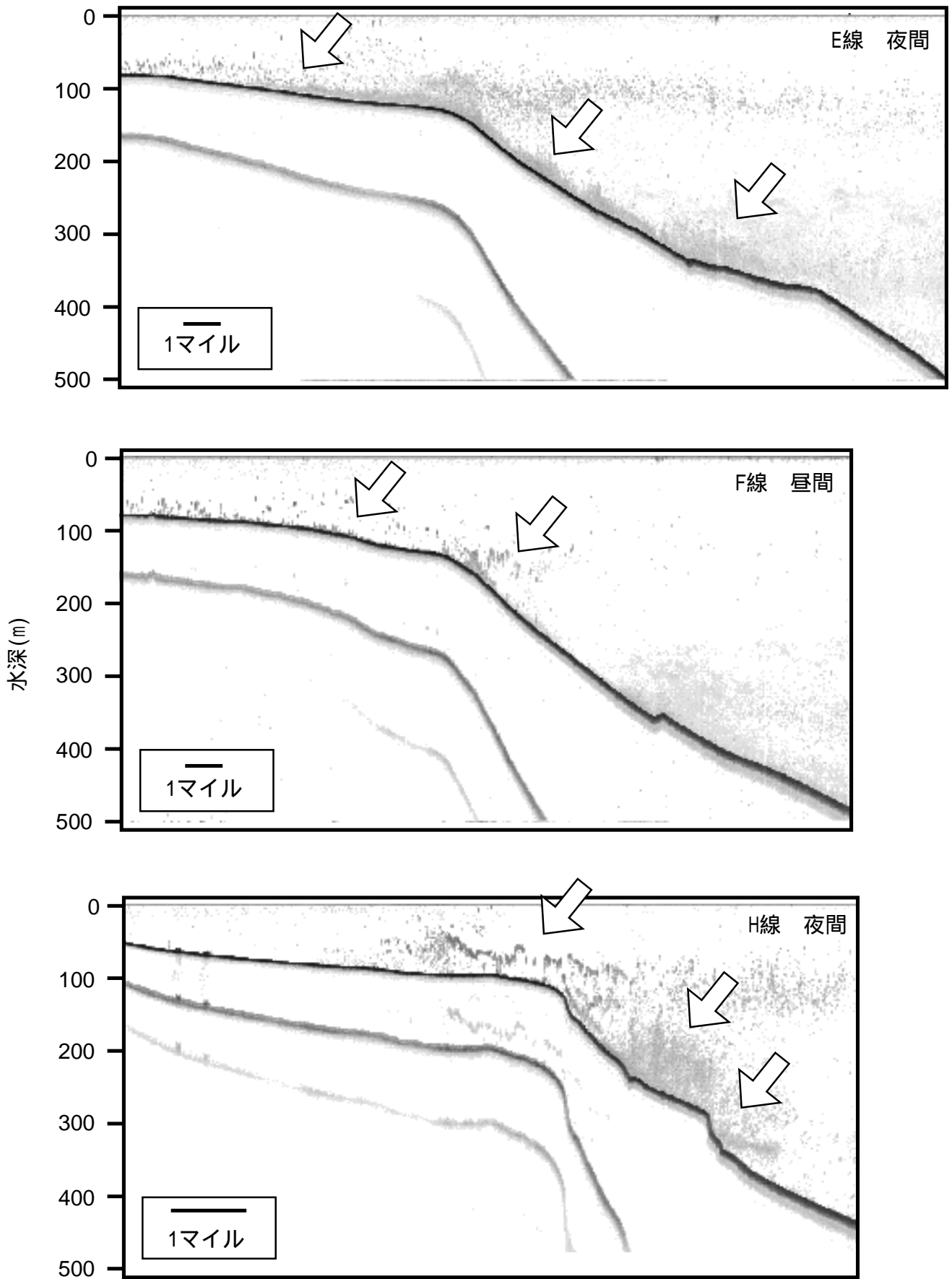


図2 . 魚探画像 つづき
 矢印：スケトウダラと考えられる魚群

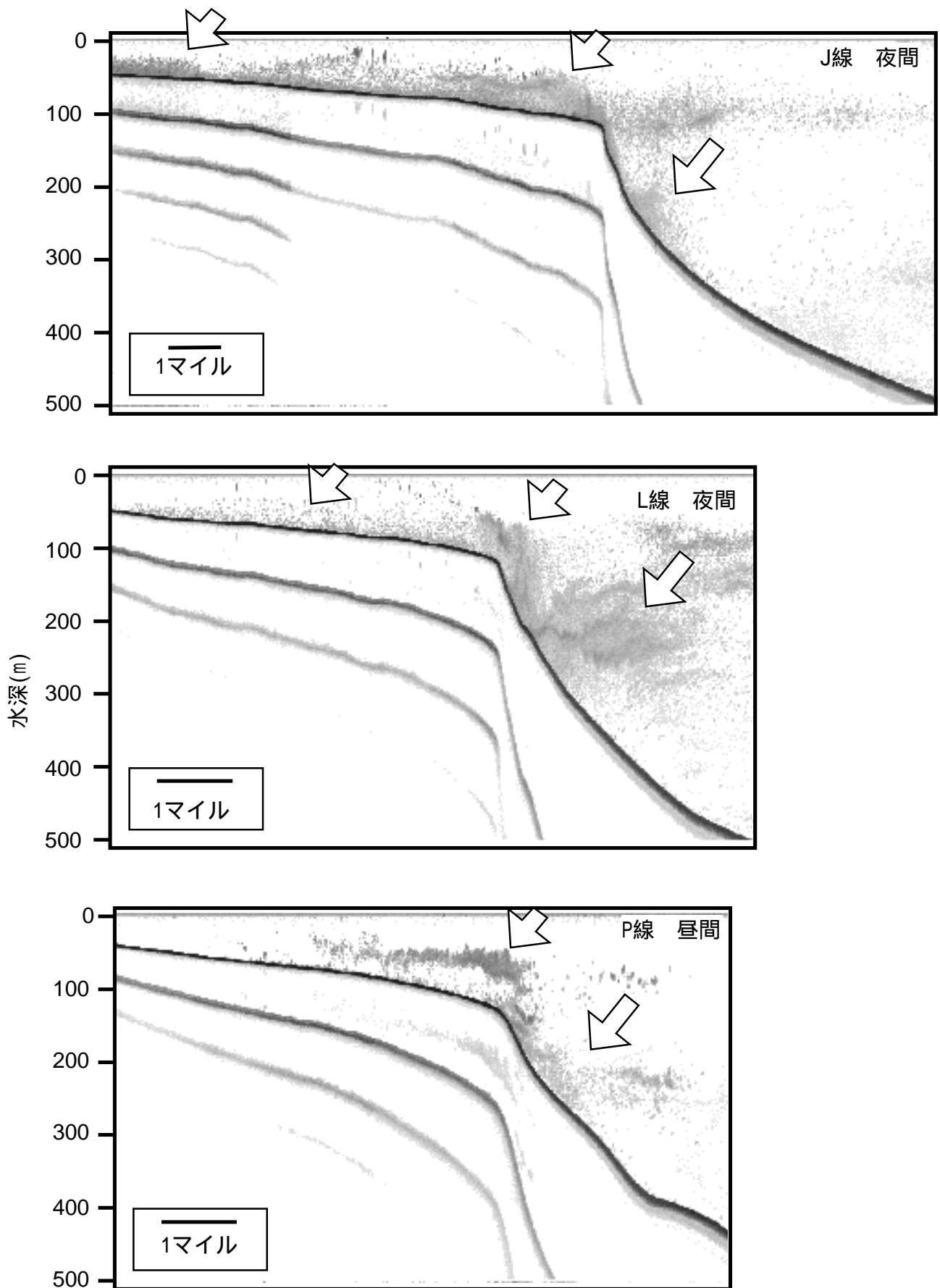


図2 . 魚探画像 つづき
 矢印：スケトウダラと考えられる魚群